



JACOT認定ライセンス 普及員ライセンスセミナーⅠ 開催要項

Co-ordination Trainingとは

近年の脳科学・認知科学などの進展によって、人間の諸能力の考え方は大きく変わりました。そうした知見を踏まえて、コーディネーショントレーニング（学習）は、人間の潜在的能力を引き出す身体への運動刺激を通して、知性・感性を育み、様々な「学ぶ力」の獲得を目的としたトレーニングです。

JACOTは「誰もが指導できて、誰もが結果をだせるトレーニング」であり、「指導を通じて、自らも能力向上を図るトレーニング」という“基礎的コーディネーション（＝Basic Co-ordination）”の普及を目指しています。現在、JACOTの活動には一般市民を含め、様々な階層・分野の人々が参加し、地域創成と人材育成のためのヒューマンネットワークの構築に向けた協働事業に取り組んでいます。その一つとしてライセンス制度を活用した指導者養成を行っております。

ライセンスセミナーⅠ 開催日時	開催地	会 場
2020年 8月23日(日) 9:30-16:40	東京都	江戸川区立大杉小学校体育館
2020年10月18日(日) 9:30-16:40	東京都	葛飾区立末広小学校体育館

普及員ライセンスセミナーⅠ（会場受講）



◎園・学校・地域で、理論に基づいた実践や普及活動に取り組みたい方などおすすすめです。

◎考案者の荒木秀夫理事長またはJACOT認定「講師」による教本を使用した実践形式のセミナーになります。

eラーニング講座Ⅰ（オンライン受講）



◎ライセンスセミナーを受講される方は事前の受講が必須となります。

◎ご自身のPC等で動画を視聴しながら学習するインターネット上での講座になります

※写真はイメージです

1 JACOT認定ライセンス開催趣旨

本ライセンスは、新しい発想で地域の課題に取り組む“地域人材”を発掘し、運動指導を通じて地域創生に参画する意思をもった人々の「市民力」を高めるためのヒューマンネットワークを築くことをミッションとします。そして「地域力」を創生し、地域の活性化に貢献することで、あらゆる人々の心身の健康増進に寄与することを目的として開催します。

2 ライセンス制度

本ライセンスは、JACOTと共に活動し、“Basic Co-ordination”の指導実践や普及活動を通じて、地域創生・人材育成に参画する「協働推進会員」を認定する制度です。国や公益法人の補完的な資格制度として位置づけられます。

協働推進会員		基礎条件	受講科目	試験	主な役割	更新条件
講 師	ク オ リ フ ィ ケ ー シ ョ ン 質 的 評 価	ライセンス登録後 協働事業への参画 累積300時間以上	Co-ordination特論Ⅱ (講義及び演習)	論述・実技 面接	ライセンス講座 や研修会の講師	協働事業 への参画が 年3回以上
准 講 師		ライセンス登録後 協働事業への参画 累積100時間以上	Co-ordination特論Ⅰ (講義及び演習)	論述・実技 面接	実践講座の講師 研修会の講師	協働事業 への参画が 年2回以上
指 導 員		ライセンス登録後 協働事業への参画 累積50時間以上	eラーニング講座Ⅱ ライセンスセミナーⅡ	実技・面接 レポート課題	入門講座の講師 実技研修の指導	協働事業 への参画が 年1回以上
普 及 員		オンラインサイト Web-cotに登録	eラーニング講座Ⅰ ライセンスセミナーⅠ	レポート課題 グループ面接	講座の企画運営 体験会の指導	条件なし

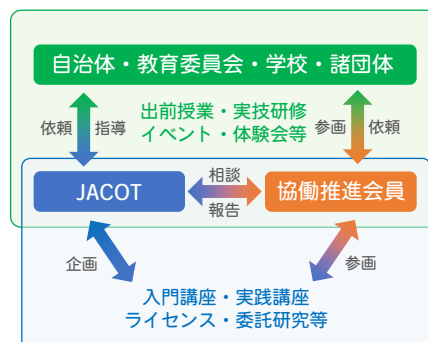
※「普及員」のライセンス登録後は、協働事業へ参画することでクオリフィケーションの取得を目指すことが可能です。なお、クオリフィケーションの取得は義務ではなく任意となります。

3 ライセンス登録後の活動

ライセンス登録後は、全国の自治体・教育委員会・学校等との連携による協働事業において、JACOTの「協働推進会員」として各種講座や体験会などに参画し、指導・普及活動を行うことができます。またオンラインサービス（Web-cot）での過去の研修動画・実技動画の視聴、指導計画等のサポート、会員価格での研修等の参加、会報（JACOT通信）などで全国の取組事例についての情報を受取ることが出来ます。

4 協働事業とは

JACOTの協働事業においては、地域社会で多くの人が担う日常生活における支援や親、教師、地域住民が取り組む活動に主眼を置いています。専門家によって地域の課題を解決していこうとするものではなく、人々との連携を図り、緩やかなヒューマンネットワークを構築しながら、誰もが持てる能力、労力をささやかでも供出することによって草の根から地域活性化を目指します。



JACOTの協働事業におけるイメージ図

5 受講方法

① WEBページから申込み

<http://urx3.nu/UeCl>



お申し込み後、専用サイトの「Web-cot」にご登録いただきます。
登録には、個人用メールアドレスが必要になります。



② 講義編「eラーニング講座Ⅰ」オンライン受講

「Web-cot」にて考案者である荒木秀夫理事長による講義映像を視聴し、基礎理論を学習します。パソコンやタブレットで、好きな時に繰り返し受講できます。また、セミナー受講前に指定レポート課題の提出を行います。



③ 実技編「ライセンスセミナーⅠ」1日会場受講

「寝返り立ち」「クロローリング」「くの字」「ラディアン」など“Basic Co-ordination”のトレーニングや対象に応じた指導法について、体験的に学習します。1日の最後にはグループ面接を行います。



6 受講に係る費用

事前に教本を購入済みの方やeラーニング受講済みの方は、セミナー受講料のみお支払いとなります。
Webでお申込み後、ご案内の口座へお振込みください。法人・団体が複数名の一括払いも可能です。

区 分	教本代	eラーニング講座Ⅰ 受講料	ライセンスセミナーⅠ 受講料	合計（税込）
新規受講者	3300円	6600円	9900円	19800円
会員再受講	3300円	3300円	3300円	9900円

7 申込の流れ



8 登録費用

試験に合格後、協働推進会員の「入会申込書」をご提出いただきます。

種 別	内 容	登録費用	主な特典
協働推進会員	この法人の定める資格に認定・登録し活動に参画する個人	入会金・年会費 9800円 (翌年度からは4800円)	会報の送付・メール配信 主催イベントの優先参加 受講料等の割引など

「JACOT認定ライセンス」取得者のインタビュー

新宿区立西新宿小学校

校長 清水 仁さん



オリンピック・パラリンピック教育推進校の指定を受けたことをきっかけに体育で導入をはじめました。2016年にライセンスを受け、今まで跳べなかったダブルダッチが、練習なしで突然跳べるようになったことに私自身驚きました。子どもだけでなく大人も“学ぶ力”が高まる！脳と神経をうまくつなげるトレーニングの効果だと思いました。また、カリキュラム・マネジメントの中で、COTを「心と体をつなぐ」と位置づけ、他にも様々な取り組みを位置づけました。コーディネーションの発想で、「繋いでいく」といった事を考えて学校の経営方針を作り、毎年COTを実践してます。子どもたちの心と体、前向きに生きる意識、そういう



ものをCOTで育てていき、もっと子どもたちの可能性を伸ばしていきたいです。COTは、体育にして体育にあらず。

板橋区 ひいらぎ保育園

園長 小原 章さん



2010年にライセンスを取得した後は、JACOTさんに月2回の指導をお願いしました。本園で指導法を学びながら、翌週に同じプログラムを私が実践するという取り組みを、2011年から4年ほど継続して行いました。現在は、そのプログラムを元にアレンジを加えながら4歳児、5歳児向けにCOTを継続しています。

COTに取り組むことで、ボールなど物の操作が上手になったり、人と合わせることが自然にできるようになっていると思います。卒園間近に取り組んだダブルダッチでは、練習を全くせずとも、すぐに跳べるようになった子もいます。COTによる運動の学習能力が高まっているからこそだと効果を感じています。保育士は、本格的な運動指導は専門外という意識をどうしても持ってしまいがちですが、COTはそんなことはない。



子どもと楽しくできるんだよということを知って欲しいと思います。私自身、子どもと仲良くなれると感じています。

NPO葛飾末広レインボークラブ

会長 高田 通江さん



JACOTの先生方が指導された葛飾区教育委員会主催の放課後子供教室で初めて出会いました。小学校の放課後児童指導サポーターとして、子どもたちの驚くべき変化を目の当たりにして、継続して子どもたちと取り組みたい思い、2014年にライセンスを取得しました。その時は、団体を立ち上げて、地域で普及活動をするようになるなんて夢にも思ってもいませんでした。

現在では、メンバーも増えて、色々な場所に指導にいくようになっていきます。最初は、運動指導の仕方から全く分からなかったのですが、ライセンス教本とかJACOTの先生方に相談したりしながら始めました。

今は、保育所、幼稚園、小学校と、すごく広がってきています。どの子も幸せになって欲しいなと思って、活動をしているのですが、今後は、シニア向けの指導も学びたいと思っています。



川口市立里中学校

校長 高田 晶子さん



2015年にライセンスを取得してから、どうやら学校教育の中で展開できるかと悩んでいました。でも、できることから始めてみよう！という思いで全校朝会の校長講話で紹介したり、創部したばかりの部活動や自由参加の朝活動として取り組んでみました。印象的だったのは「COTをやりたいから、課題を早く終わらせて来た」という生徒や、「COTの日なのに、なんで予定を入れたの！」と保護者に怒る生徒がいたり、意欲が凄いと感じました。「楽しい」という声が多く、集まる機会があると、自分たちでラディアンをする姿も見られています。最近では、「走り方、フォームが変わった」「動きが目に見えて変わった」と顧問の先生方から言われるようになりました。コミュニケーション能力が高まって欲しいという思いを抱きながら、COTを取り入れたことで、自然と一体感が出て「仲間を感じ」「人を感じる」ことができるようになってきているなと思います。



※ご所属・肩書はインタビュー当時のものです。